

世界が進むチカラになる。



欧州景気概況(2024年10月)

2024年10月2日

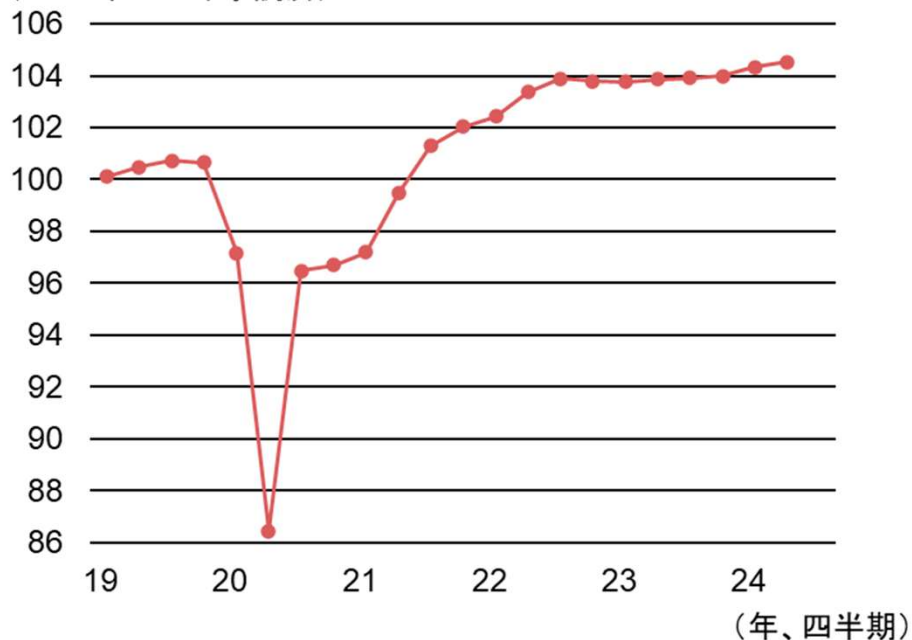
調査部 副主任研究員 土田陽介

ユーロ圏景気概況① 景気は拡大している

ユーロ圏の4-6月期の実質GDP(確定値)は前期比+0.2%と、1-3月期(同+0.3%)から増勢が鈍化したが、3期連続でプラスとなった。輸出が加速して景気をけん引した反面で、個人消費が失速して景気を下押しした。一方、最新9月の景況感指数は96.2と再び低下し、景気の前向きは一進一退で推移。

実質GDP

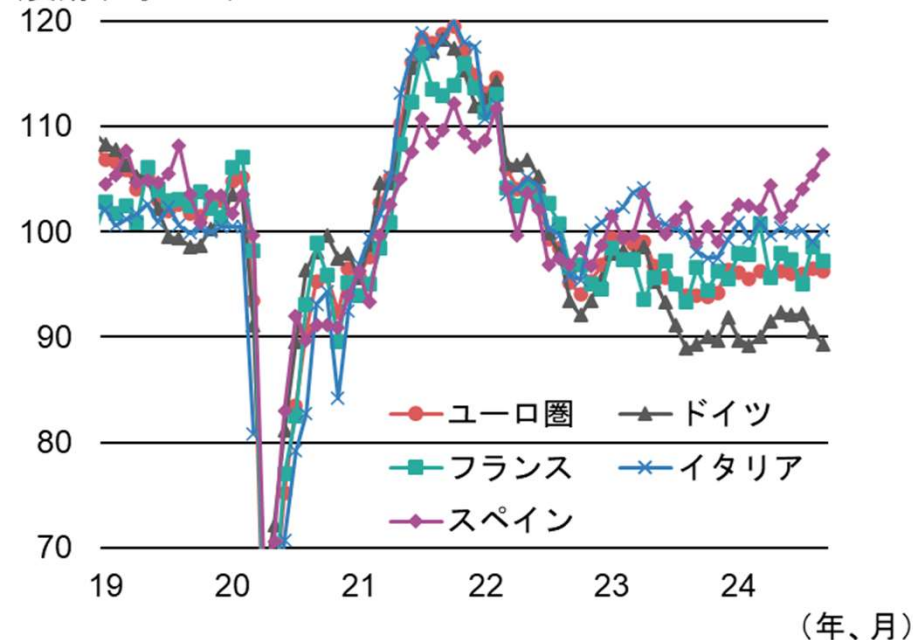
(2021年=100、季調済)



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

景況感指数

(長期平均=100)

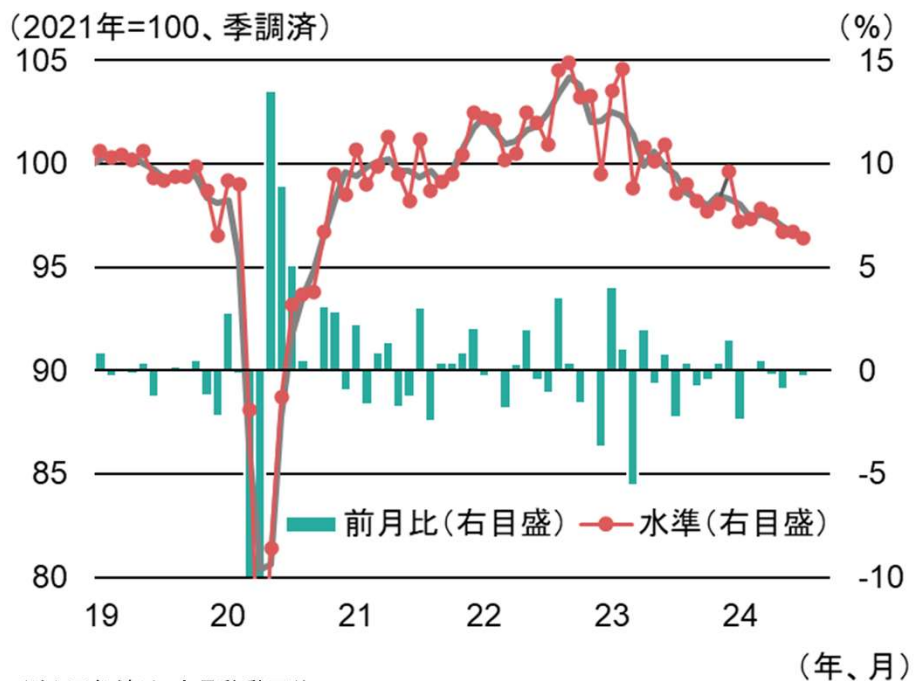


(出所) 欧州委員会ECFIN

ユーロ圏景気概況② 生産は悪化している

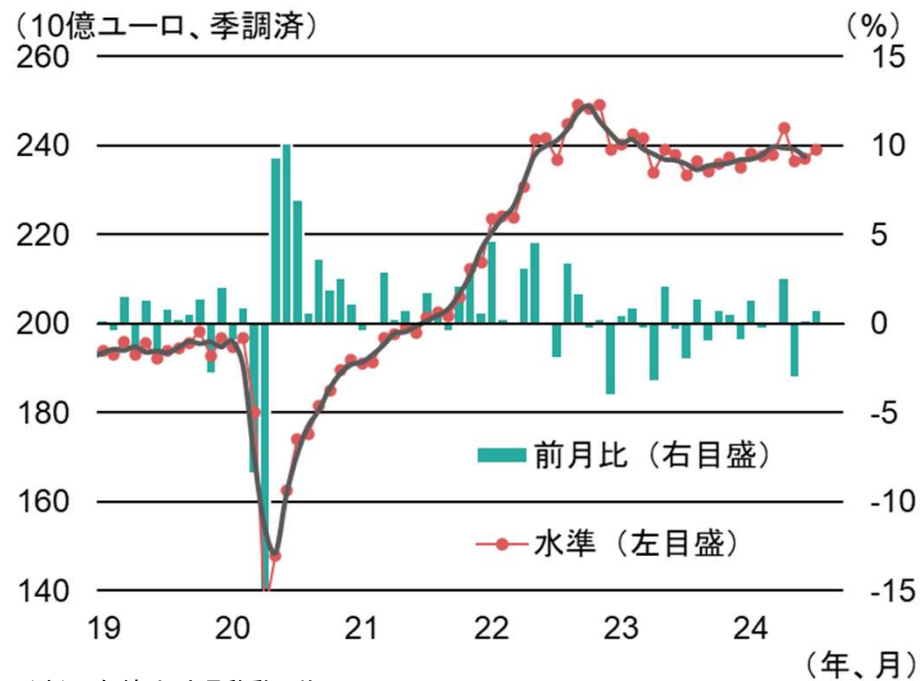
ユーロ圏の7月の鉱工業生産は前月比▲0.3%と再び減少し、均した動きは下向き。一方で、同月の名目輸出は前月比+0.8%と6月(同+0.2%)から増勢が加速したものの、均した動きは横ばい。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

名目輸出

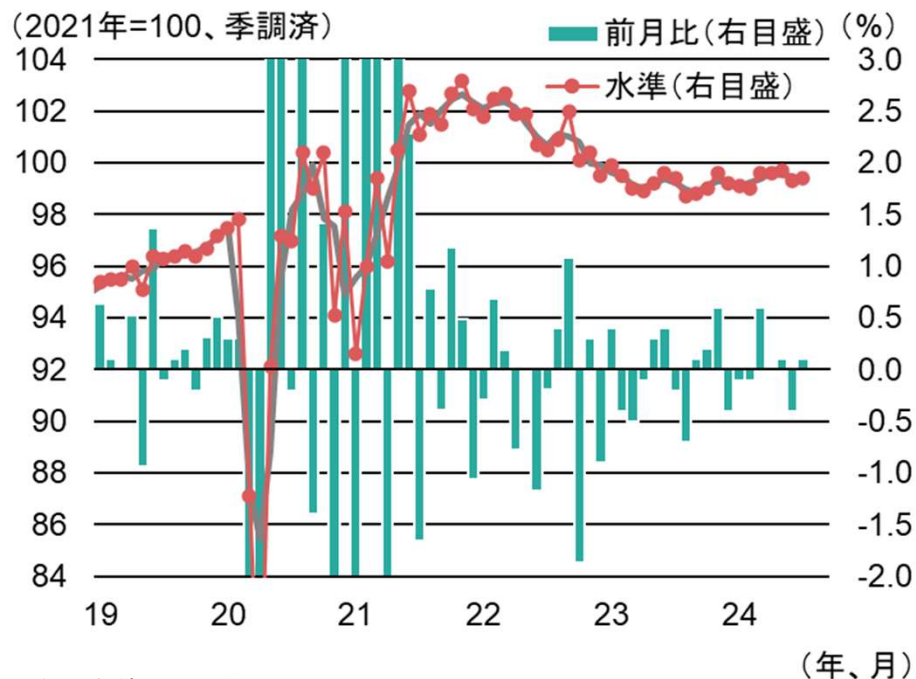


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

ユーロ圏景気概況③ 消費は停滞している

ユーロ圏の7月の小売数量は前月比+0.1%と再び増加したが、均した動きは横ばい。一方で、8月の新車販売台数は前月比▲4.4%の年率816万台となり、均した動きは下向き。

小売数量



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ユーロスタット

新車販売台数

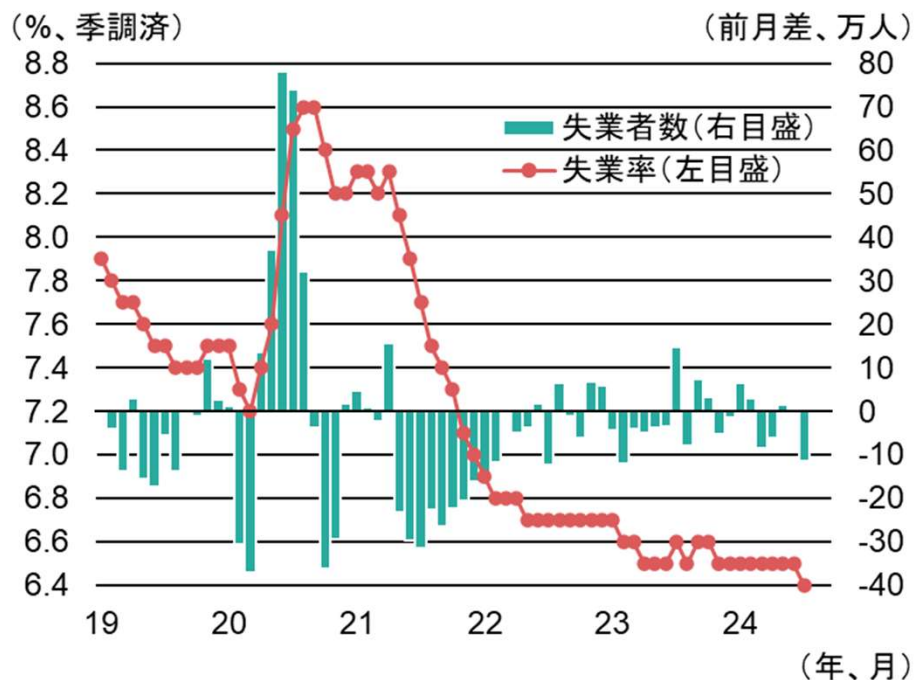


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) 欧州中央銀行 (ECB)

ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善が進む

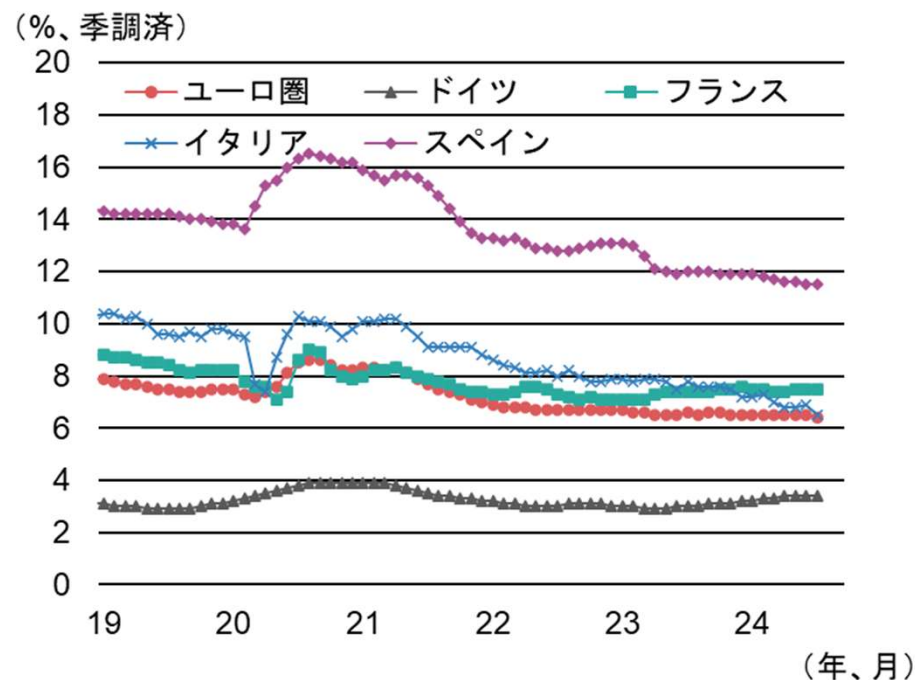
ユーロ圏の7月の失業率は6.4%と9カ月ぶりに低下、同月の失業者数も前月差11.4万人減と6月(同0.3万人減)からマイナス幅が拡大しており、雇用は改善が進んだ。主要国別に失業率を見ると、ドイツやフランスが緩やかな上昇トレンドである一方で、イタリアやスペインは緩やかな低下トレンドである。

失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

主要国別失業率

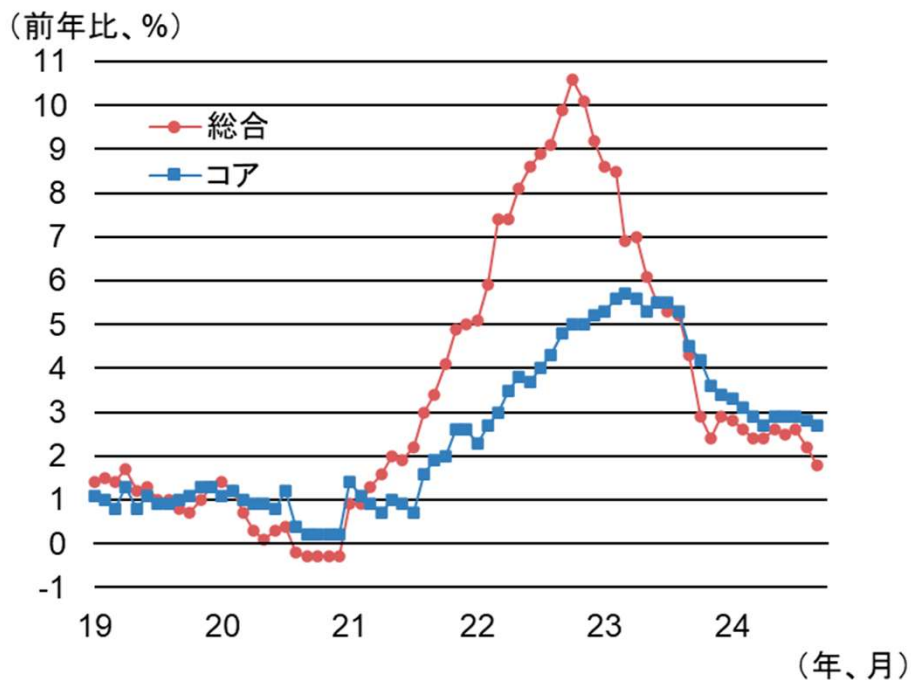


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑤ インフレは鈍化している

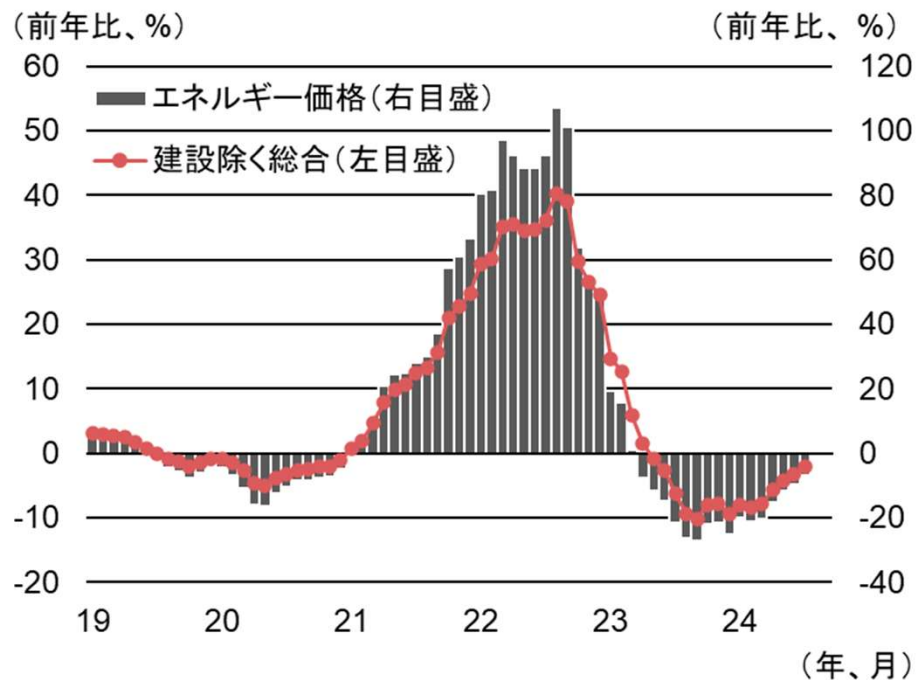
ユーロ圏の9月の消費者物価は総合ベースで前年比+1.8%と、2カ月連続で伸びが鈍化した。一方、変動が激しい項目を除いたコアベースは同+2.7%と前月(同+2.8%)とほぼ同様の伸びだった。また生産者物価(建設除く総合)は7月時点で前年比▲2.1%と14カ月連続で前年割れとなったが、マイナス幅は徐々に縮小している。

消費者物価



(出所)ユーロスタット

生産者物価

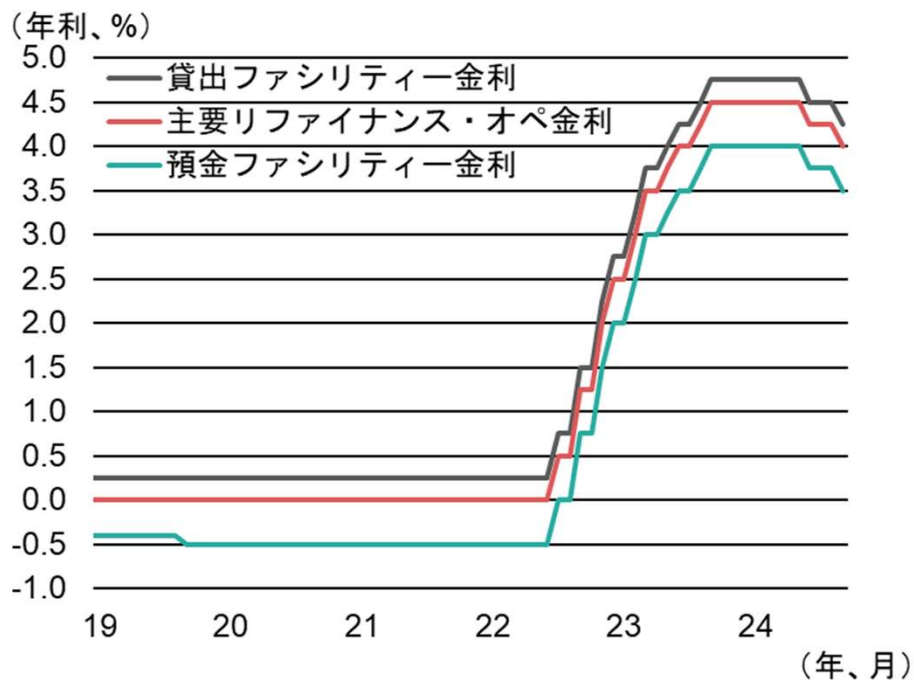


(出所)ユーロスタット

ユーロ圏景気概況⑥ ECBは9月理事会で追加利下げを実施

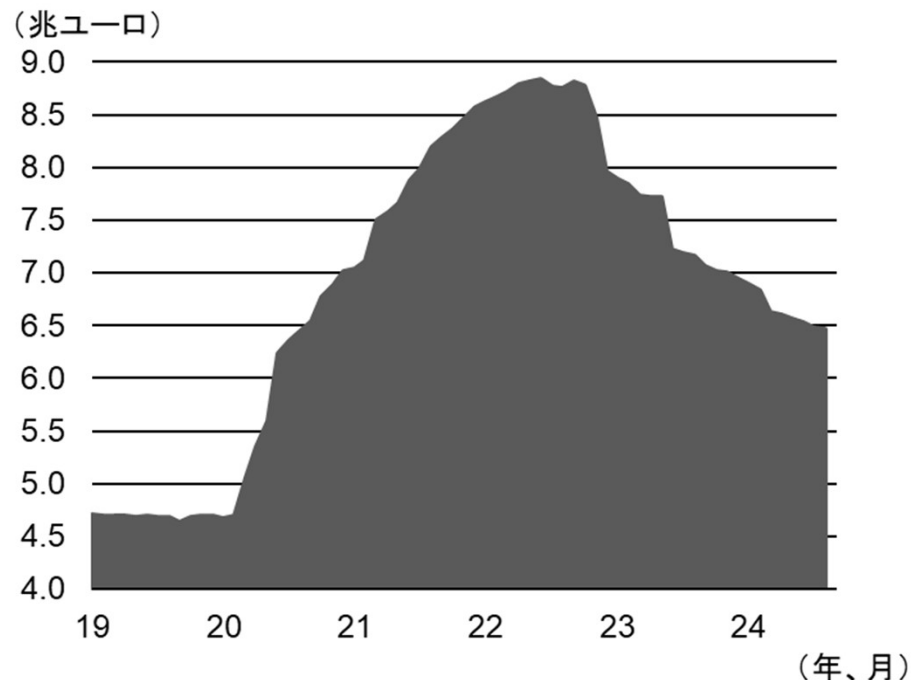
欧州中央銀行(ECB)は9月12日の理事会で3種類ある政策金利をそれぞれ0.25%ポイントずつ引き下げた。追加利下げに関しては、フランス中銀のビルロワドガロー総裁が積極的な姿勢を示している。ECBは年内残り2回の理事会(10月17日と12月12日)を予定しているが、市場は10月の追加利下げを織り込んでいる。

政策金利



(出所) ECB

ユーロシステムのバランスシート

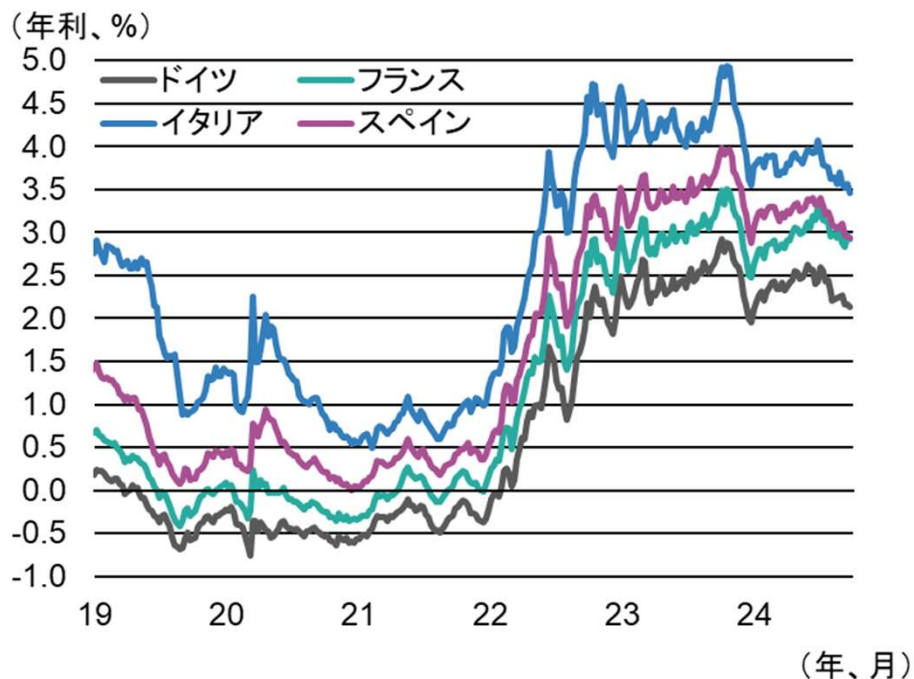


(出所) ECB

ユーロ圏景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

9月のユーロ圏主要国の長期金利は低下した。ECBによる追加利下げを受けて長期金利は低下した。一方で、同月の株価は上昇した。上旬は米中景気の減速が意識されて相場は下落したが、中下旬は米欧の利下げが好感されて相場が急回復し、月間では上昇となった。

10年国債流通利回り



(出所)各国中銀

株価(Eurostoxx50)

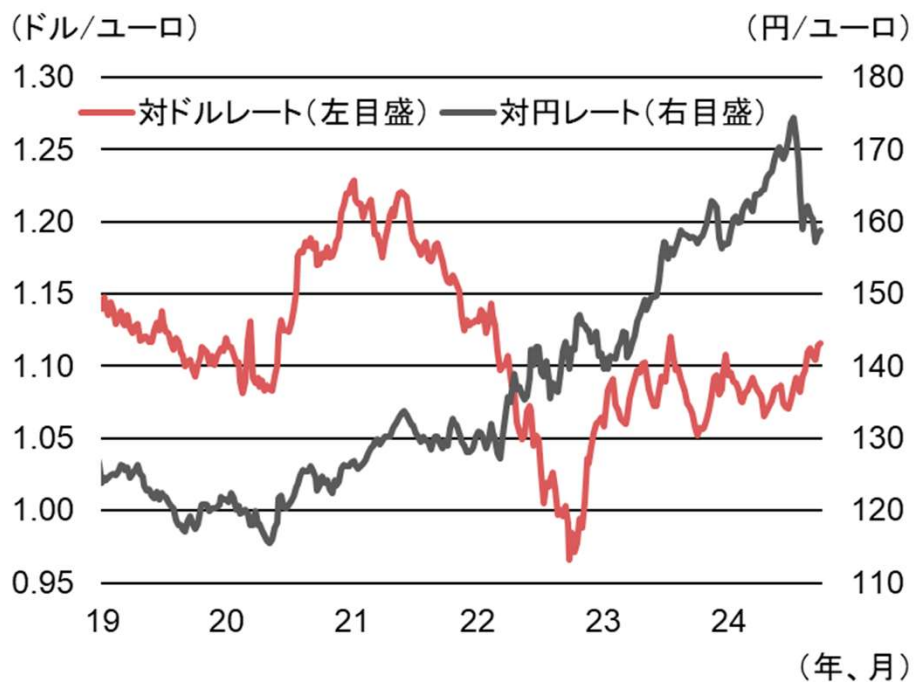


(出所)STOXX

ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドルで上昇、対円で下落

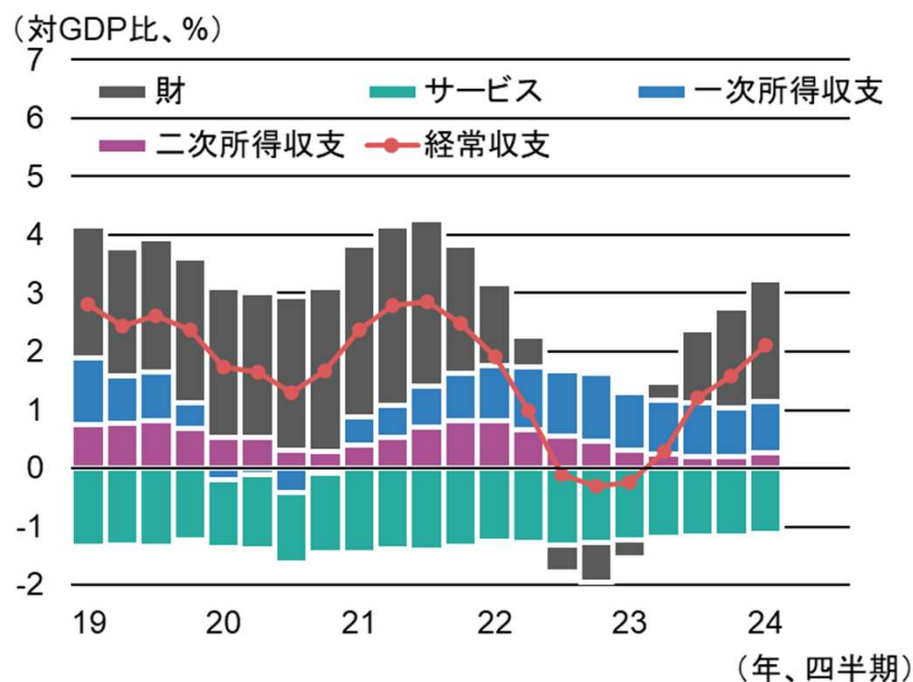
9月のユーロ相場は対ドルで上昇、対円で下落。対ドルでは、米国の大幅利下げを反映してユーロ高ドル安が進んだ。一方で対円では、自民党総裁選をにらんだ思惑で一進一退となった末にユーロ安円高になった。経常収支は財収支(貿易)黒字が拡大しており、実需面からのユーロ買い圧力が徐々に強まっている。

ユーロ相場



(出所) ECB

経常収支



(出所) ECB、ユーロスタット

英国景気概況① 景気は拡大している

英国の4-6月期の実質GDP(改定値)は前期比+0.5%と2期連続で成長したため、景気は拡大局面に転じた。主要な需要項目別には個人消費と総固定資本形成がプラスを維持した反面で、輸出のマイナスが続き、景気を下押しした。一方、7月の月次GDPは2カ月連続で前月比横ばいにとどまった。

実質GDP

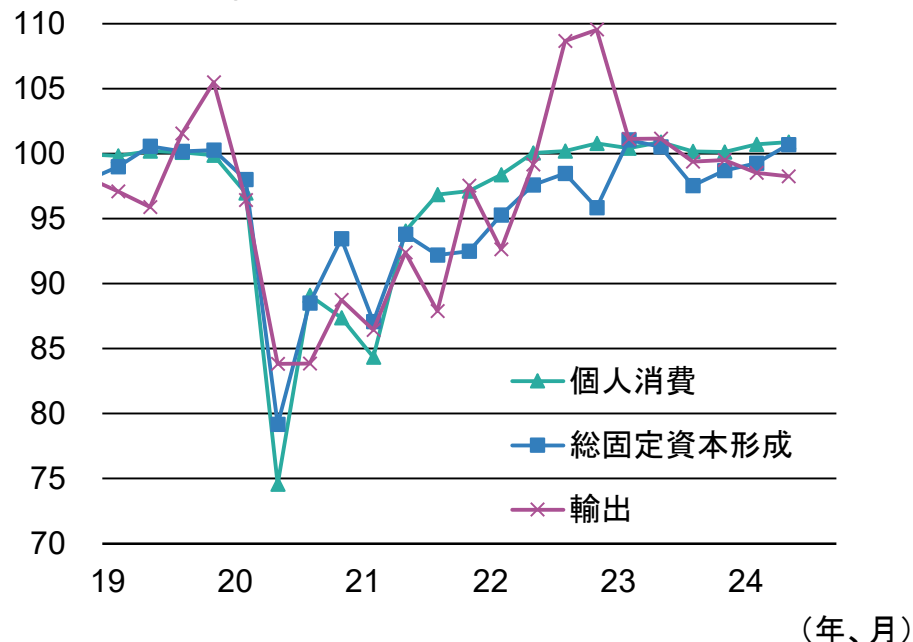
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

主要な需要項目

(2019年=100、季調済)

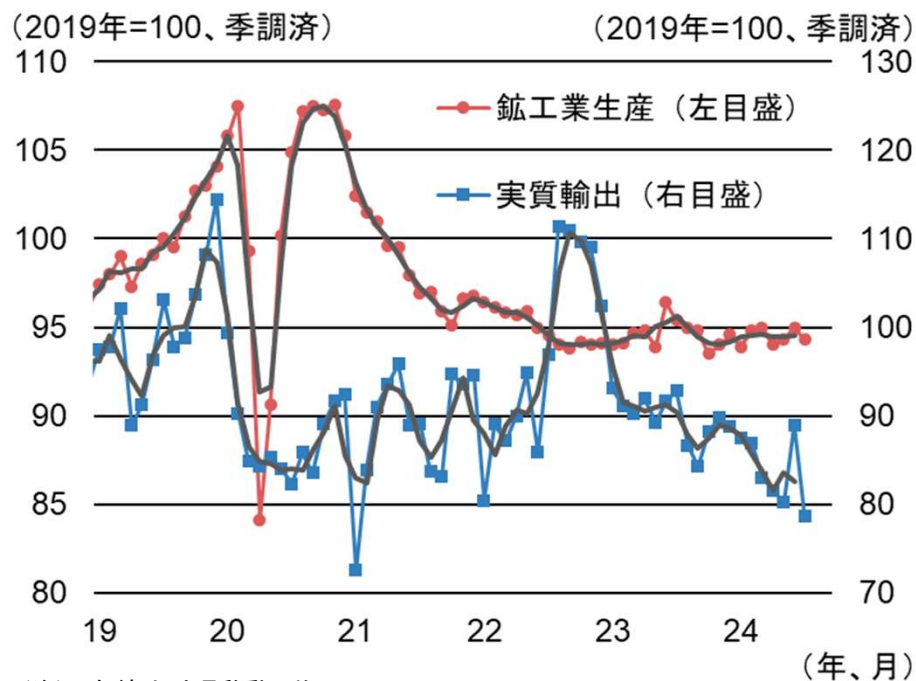


(出所)ONS

英国景気概況② 生産は停滞している

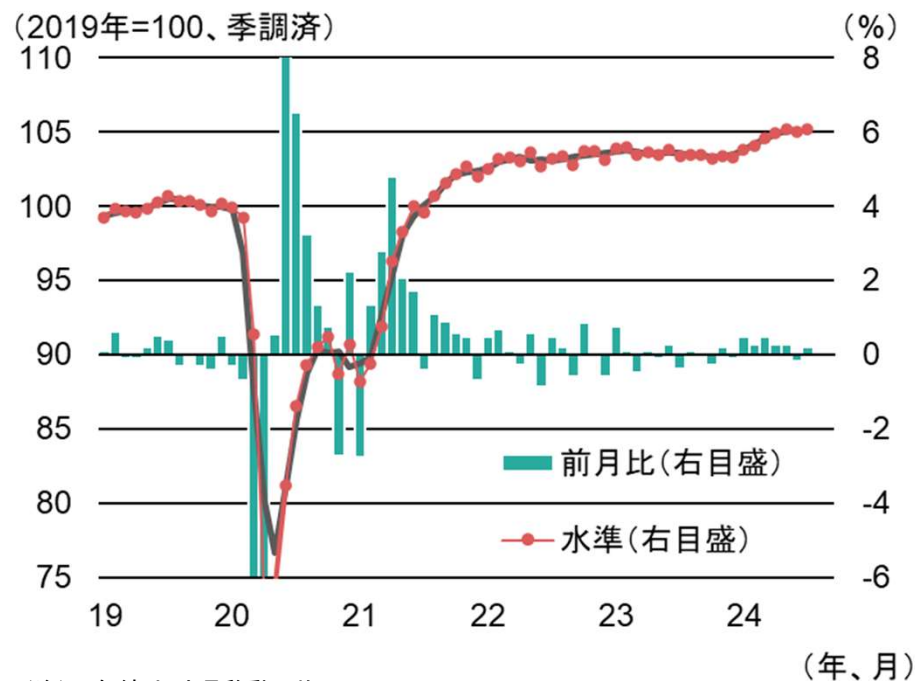
英国の7月の鉱工業生産は前月比▲0.7%と4月以来のマイナスとなり、均した動きは横ばい。一方、同月の実質輸出は同▲11.5%と、航空機関連の再輸出の急増といった特殊要因を受けて急増した前月(同+11.0%)から反落した。他方で、同月のサービス業生産は前月比+0.2%と再び増加したが、均した動きは横ばい。

製造業生産と実質輸出



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

サービス業生産

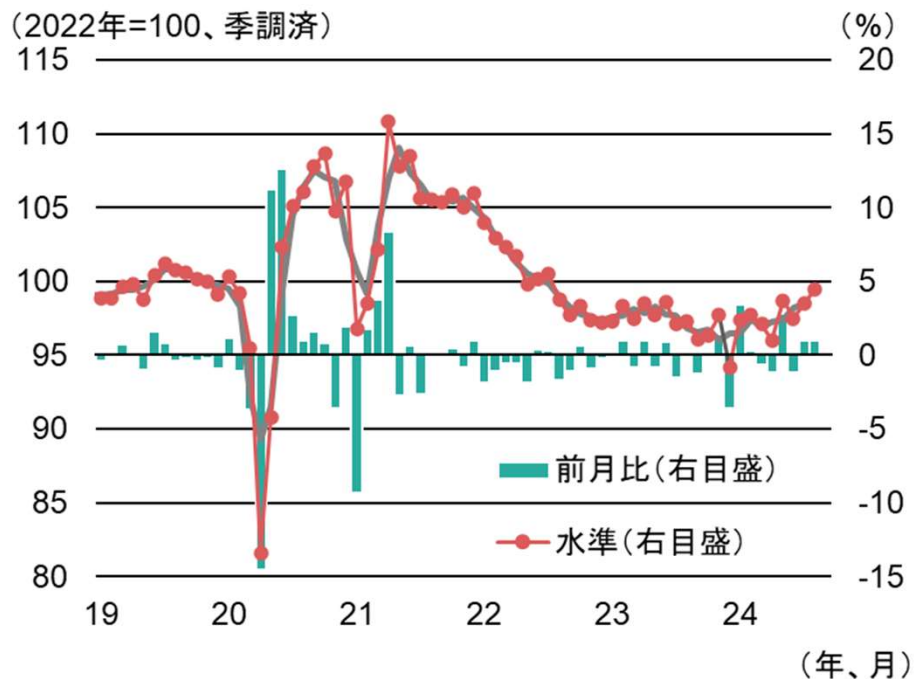


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

英国景気概況③ 消費は回復している

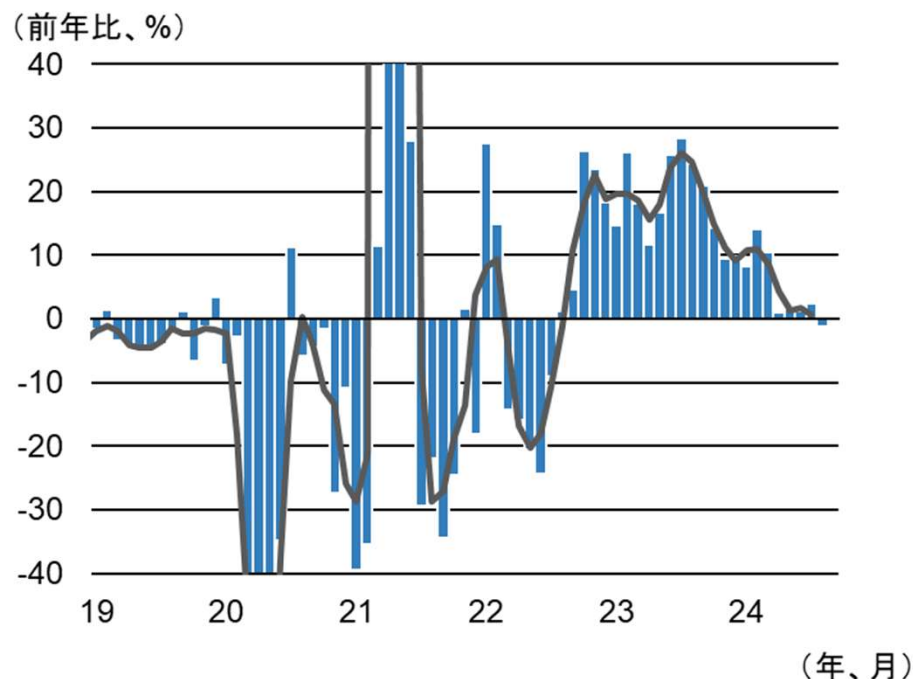
英国の7月の小売数量(除く石油)は前月比+1.0%と2カ月連続で同じ伸び率となり、均した動きも上向き。一方で、8月の新車販売台数(乗用車)は前年比▲1.3%と2022年7月以来となる前年割れに転じ、回復の動きが一服した。新車市場の規模は年率で190万台後半レベル。

小売数量



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ONS

新車販売台数(乗用車)

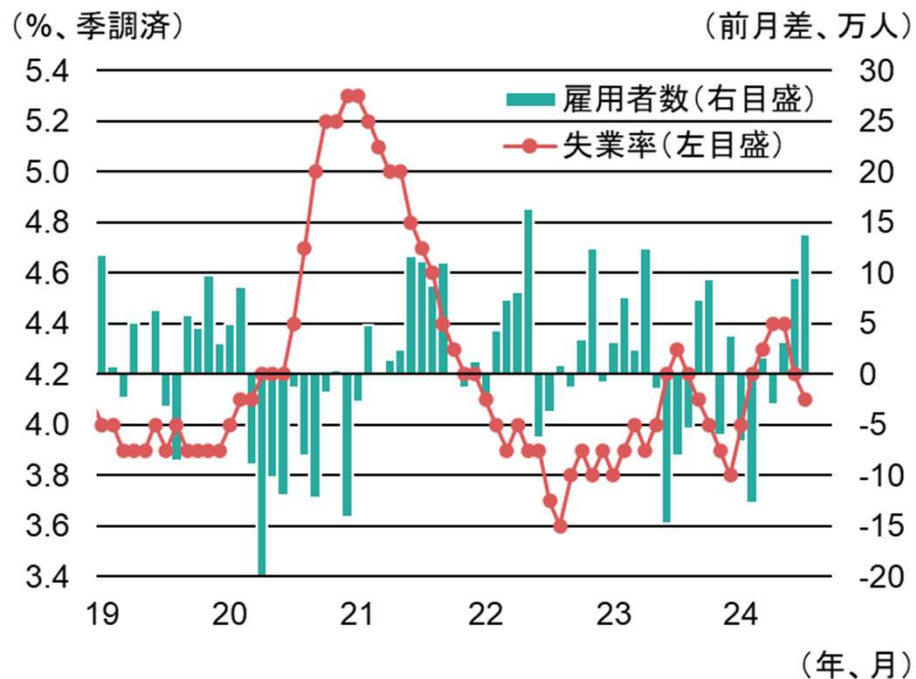


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) 英国自動車工業会(SMMT)

英国景気概況④ 雇用は改善している

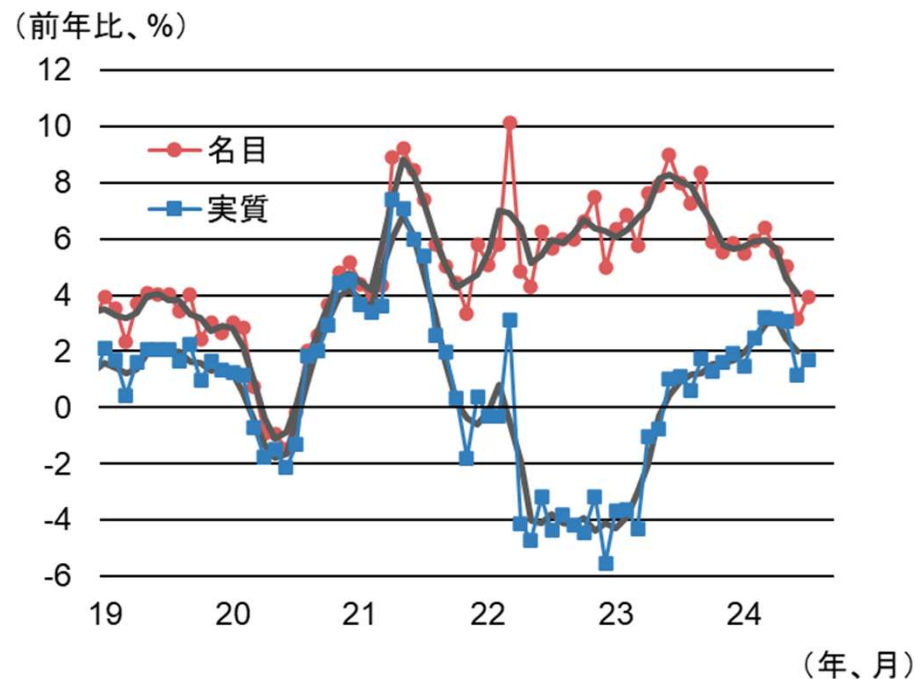
英国の7月の雇用統計は、失業率(5-7月期平均)が4.1%と2カ月連続で低下した一方で、雇用者数も前月差13.8万人増と6月(同9.5万人増)からプラス幅が拡大しており、雇用は改善していると判断される。他方で賃金の動きは、名目ベースだと前年比+4%台まで増勢が鈍化し、また消費者物価で実質化した実質ベースでも同+1%台まで増勢が鈍化した。

失業率



(注)3カ月の平均値
(出所)ONS

平均賃金(週給)

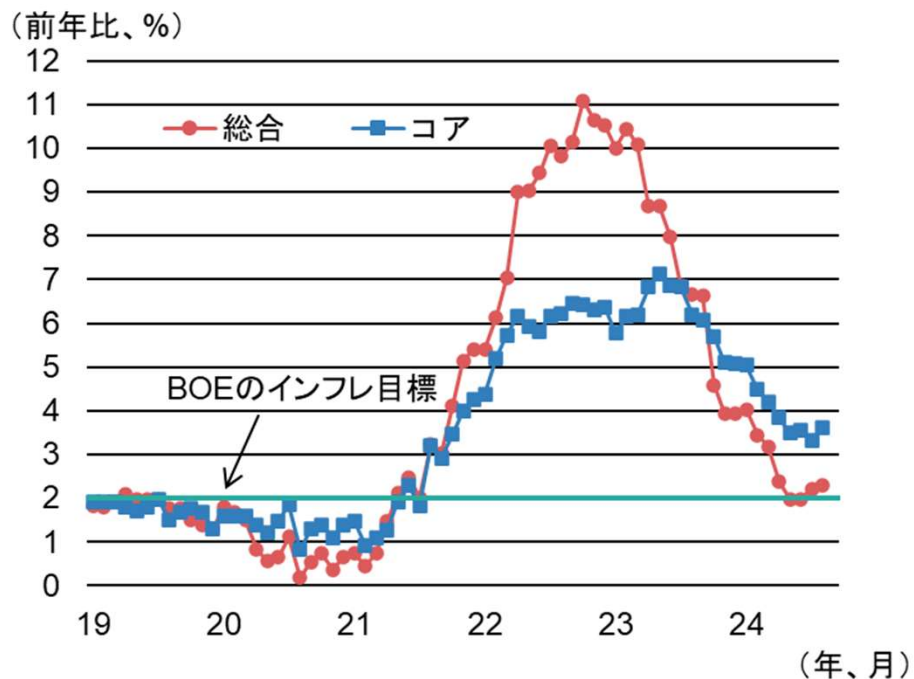


(注)灰色線は3カ月移動平均
(出所)ONS

英国景気概況⑤ インフレは鈍化が一服

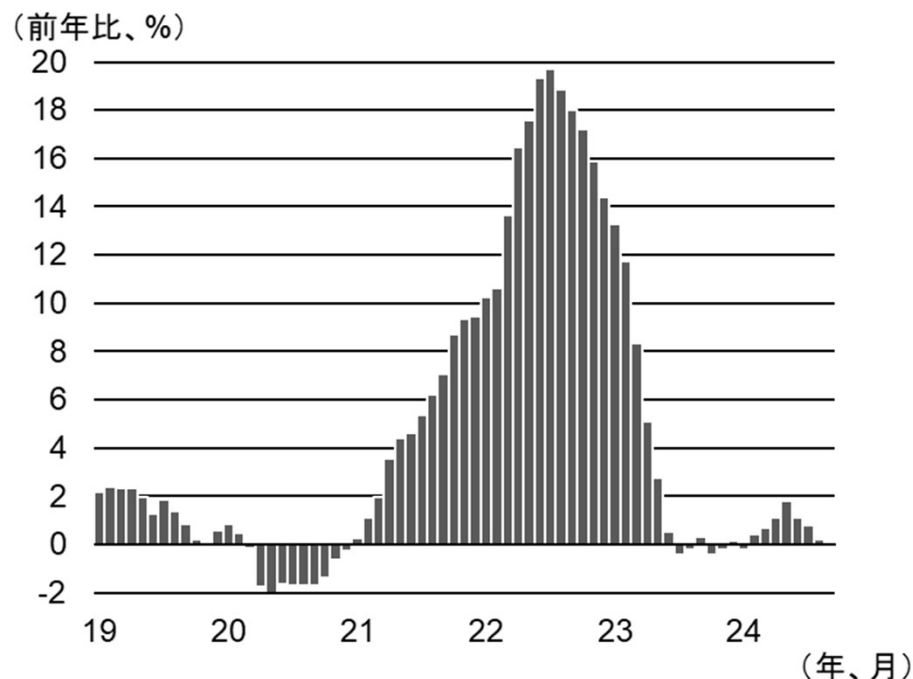
英国の8月の消費者物価は、総合ベースが前年比+2.3%と2カ月連続で上昇が加速した一方で、変動が激しい項目を除いたコアベースも同+3.6%と上昇が再び加速しており、インフレは鈍化が一服。他方で、消費者物価の先行指標となる生産者物価(産出ベース)は、同月時点で同+0.2%と伸びが3カ月連続で鈍化した。

消費者物価



(出所)ONS

生産者物価

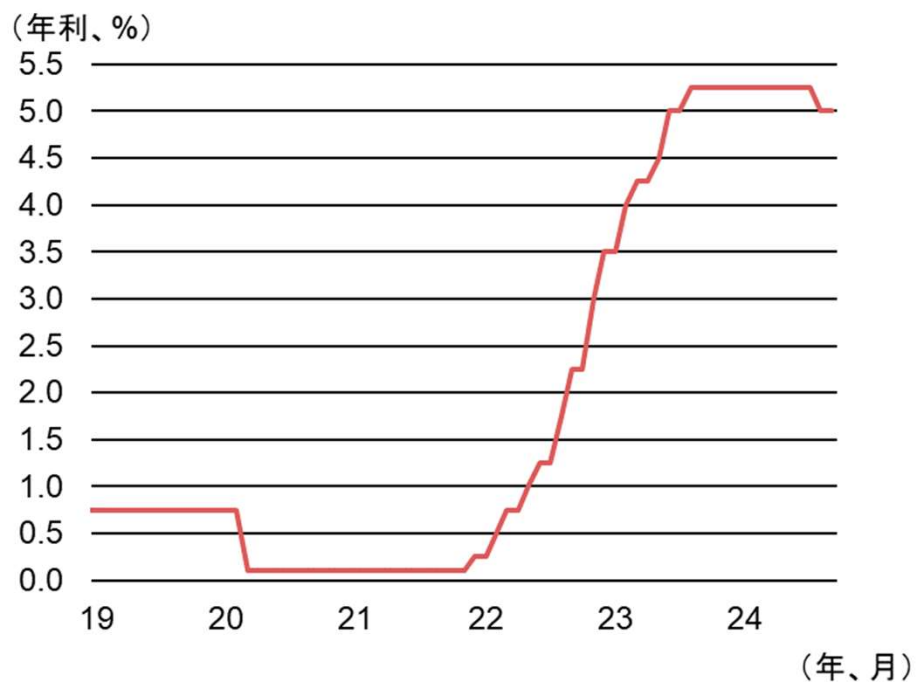


(出所)ONS

英国景気概況⑥ BOEは9月委員会で金利据え置き

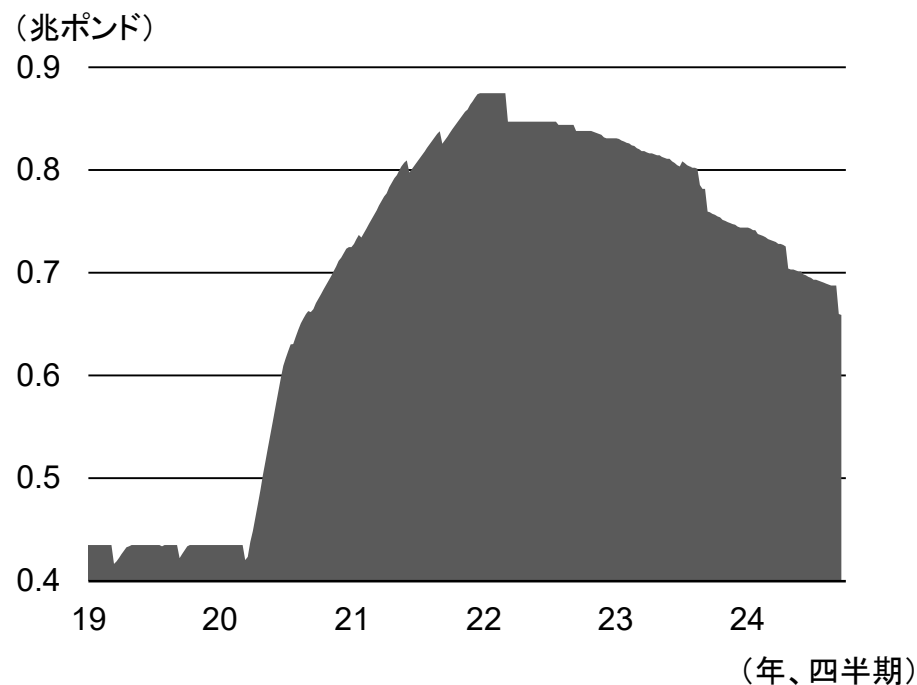
イングランド銀行(BOE)は9月19日の金融政策委員会(MPC)で、政策金利(バンクレート)を年5%で据え置いた。一方でBOEのベイリー総裁は追加利下げの可能性に言及しており、年内に後2回(11月7日と12月19日)予定されているMPCのいずれかかその両方で0.25%から0.5%ポイントの追加利下げが行われる見通し。

政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

BOEの国債保有高

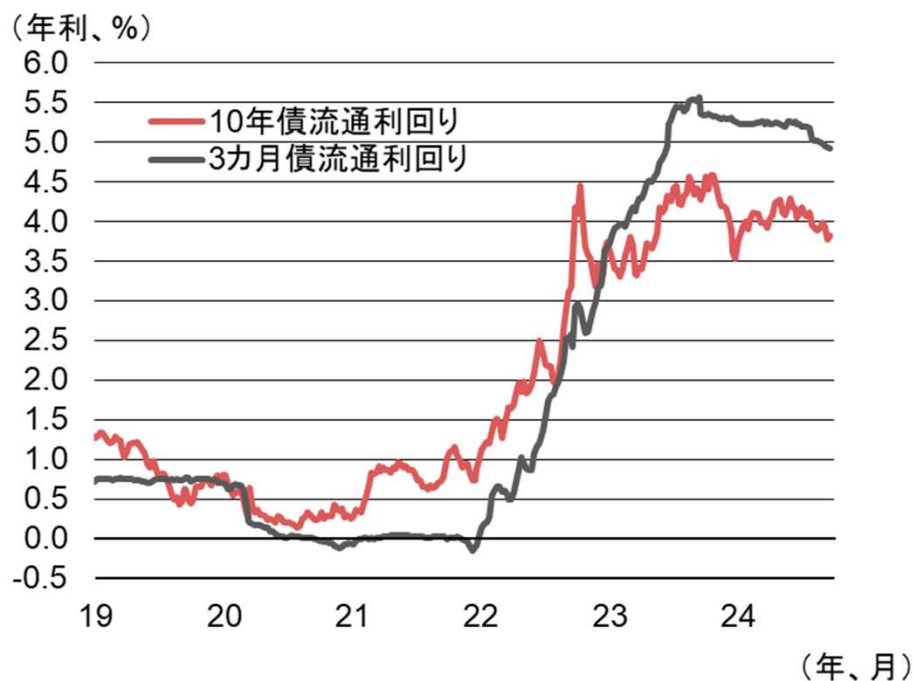


(出所)BOE

英国景気概況⑦ 金利は一進一退、株価も一進一退

9月の英国の長期金利は一進一退。米国が0.5%ポイントの大幅な利下げを実施した一方で、BOEが金利を据え置いたこともあり、英国の長期金利は一進一退となった。一方で、同月の株価も一進一退。内需株が底堅く推移した一方で、原油安を受けてエネルギー株が下落して相場を下押しした。

長短金利(10年債と3カ月債)



(出所)BOE

株価(FT30指数)

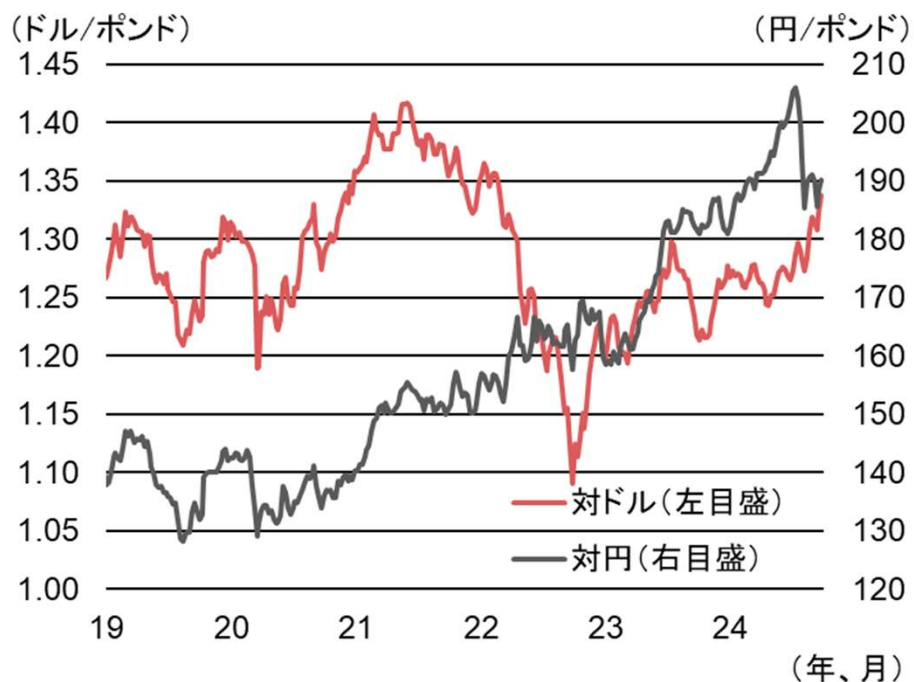


(出所)Financial Times

英国景気概況⑧ ポンドは対ドルで上昇、対円で横ばい

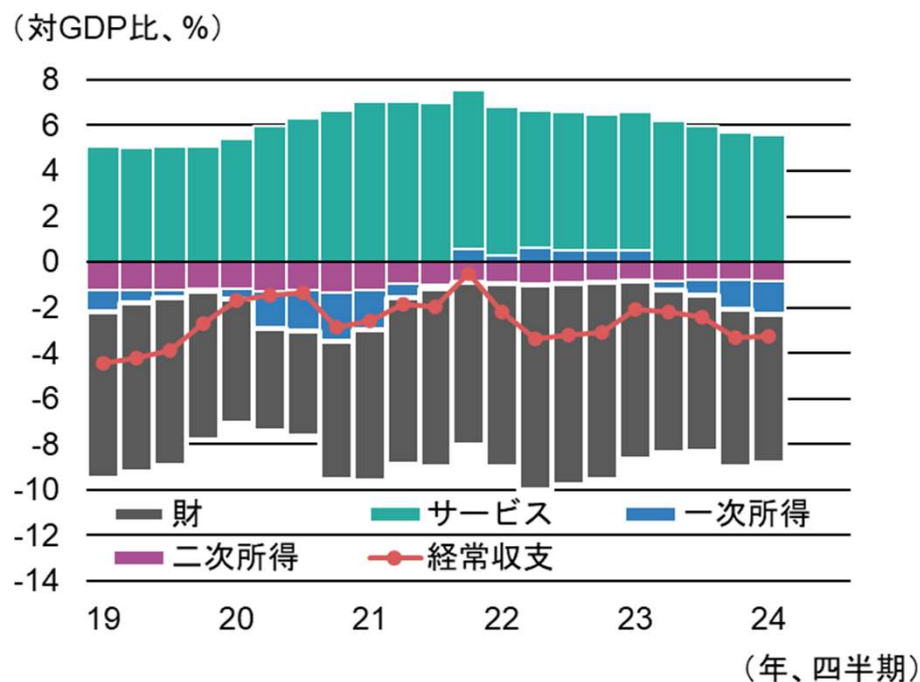
9月のポンド相場は対ドルで上昇、対円で横ばい。対ドルでは、米国の大幅利下げを反映してポンド高ドル安が進んだ。一方で対円では、自民党総裁選をにらんだ思惑で一進一退となった末にポンド安円高になった。英国の経常収支は財収支(貿易)赤字が定着しており、実需面からのポンド買い圧力は弱い。

ポンド相場



(出所)BOE

経常収支



(出所)BOE、ONS

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 土田陽介

TEL: 03-6733-1628 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー